いなほ

第 26 号

七里地区
社会福祉協議会

【発 行】
会長 川村 元男

【編 集】
広 報 部

〒337-0014
さいたま市見沼区大谷1472
電話・FAX 048-687-9997
http://7sato.sakura.ne.jp/
E-mail : nanasato-shakyo@nifty.com

七里ふれあいコンサート

今年も大盛会に

二五三名参加

第八回七里ふれあいコンサートを十二月十一日（日）、七里コミュニティセンターで開催しました。

恒例のこのコンサートにはお年寄りから子ども達まで、沢山の方々が参加され急遽椅子を増やしたり、立ち見を加えたりの超満員の中で始まりました。

マンドリン・ピアノ演奏から、ソプラノ独唱、全員の合唱まで音楽を通じて世代を超えた交流が行われました。

忙しい公務の合間をぬって途中から参加頂いた清水市長をはじめ、来賓の方々も一緒に、多彩なプログラムを、皆さんとともに大いに楽しまれました。

清水市長挨拶

第一部 マンドリン演奏

すっかりお馴染みとなりました東京マンドリン宮田楽団により『ロシアより愛をこめて』『真珠とりのタンゴ』などのポピュラー曲やアニメソング、『青い山脈』『影を慕いて』や『丘を越えて』などのなつかしのメロディーまで、解説も交えた演奏が行われ、皆さん大変楽しく聴き入っていました。

特別出演

大宮東警察署の柏崎さんにより、見沼地区でも最近増えている交通事故や「オレオレ詐欺」に関するお話がありました。

腹話術も取り入れてのとても分かり易い話や、普段からの体力維持の方法など一緒に実践して楽しみました。

第二部 独唱

ソプラノ歌手、原田　泉さんの独唱と山崎範子さんのピアノ伴奏により、オーソレミオ、愛の讃歌、唱歌のメドレーなど、すばらしい歌の数々の後、会場の皆さんと一緒に「故郷」を楽しく歌いました。

会場と一緒に歌う

うさぎ追いしかの山～♪♪

第三部 ピアノ演奏

リスト生誕二百年を記念して、見沼区在住の安達朋子さんにより、愛の夢、ため息などの、馴染深い名曲のほか、最後には超絶技巧練習曲「ラ・カンパネラ」の演奏がありました。

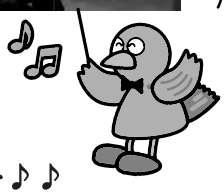
素晴らしい演奏に皆さん真剣に聴き入っていました。

～♪♪おじいさんの時計～

上を向いて一歩こうー♪♪

全員合唱

七里歌声サロンで応援いただいている、コーラスグループ「はなみずき」の方々や「出演者」の方々とともに楽しく合唱を行いました。最後はさいたま市のマスコット「つなが竜ヌゥ」と県のマスコット「コバトン」、授産施設「ななくさ」の先生によるサンタやトナカイまで加わっての全員合唱で大いに盛り上がりました。



真っ赤なお鼻の～♪♪

コンサート当日の
募金額　九，八五九円
野菜販売収益金　三〇，三〇〇円
ご協力ありがとうございました。

福祉施設見学・情報交換会

十二名参加

十一月十七日（木）、春岡地区のさいたま市障害者福祉施設「憲光園けやき」において、施設見学・情報交換会を行いました。

春光園は、生活介護や自立訓練などを行う、多機能型事業所で、一日に約七十数名の方が手すき和紙をすいたり、農作業を行っています。

精神・身体に障害があり、特別支援学校高等部を卒業した十八歳以上の方々が、一生懸命に技術習得に励んでいる姿に感心しました。

また、サポートする職員の方々の日々のご苦労に頭が下がりました。

ふれあいウォーキング

五十一名参加

十一月二十二日（火）、澄み切った青空のもとで、片柳方面に約9㌔のウォーキングを行いました。

参加者を三班に編成し、準備体操の後スタートしました。朝は少し肌寒かったのですが、歩いていくうちに、風もなく穏やかな日和となりました。

猿花キャンプ場では大谷小学校の生徒に出会い、お互いに声を掛け合い交流する姿も見られました。木の小枝からこぼれる日差しの下を、落ち葉をカサカサと踏みしめて秋を感じながら歩きました。南中丸の「駒崎家のアカガシ」や大変歴史のある「正法院」などを見学し、片柳の老人憩いの家でお弁当を食べるなど、地域の歴史を学びながら楽しいウォーキングとなりました。

子ども書初め会

二十七名参加

十二月二十八日（水）、大谷会館のホールで「子ども書き初め会」を行いました。小・中学生が参加し、冬休みの課題を一生懸命練習しました。

笹田紀香先生の配慮のいきとどいた指導のもと、参加した子ども達は真剣な眼差しの中にも和気あいあいと楽しみながら交流が出来ました。

参加した皆さん、素晴らしい作品が出来上がりました。

上手に
書けたね

ふれあい会食サービス

原則、毎月（八月を除く）第四金曜、七里公民館において、七〇歳以上の単身の方々を対象に昼食会を開催しています。

当日は、アトラクションも企画するなど、楽しいお食事会です。

十二月には、参加者全員に七里地区社会福祉協議会からミニシクラメンの鉢植がプレゼントされました。

現在、会食事業は希望する対象者が多いため、新たに参加を希望される方には予約待ちいただいております。

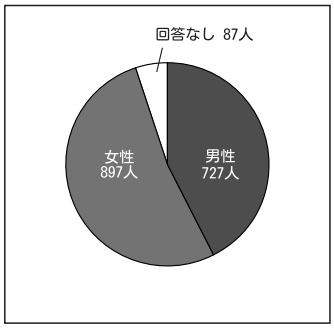
事前に担当地区の民生委員または地区社協事務所で申込みをされ、ご確認いただいてからご参加ください。

見守り活動における七里地区の生活実態アンケート結果

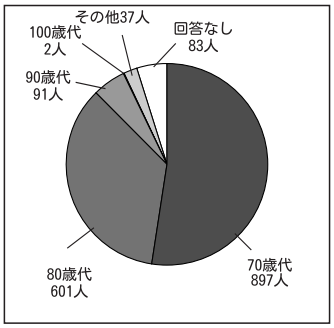
「見守り活動における七里地区の生活実態アンケート調査」にご協力いただきありがとうございました。敬老会対象者を中心に、各自治会で開催する敬老会においてアンケートを配布し調査を行いました。

回収率は54.1%　1,711人の方から回答をいただきました。感謝申し上げます。

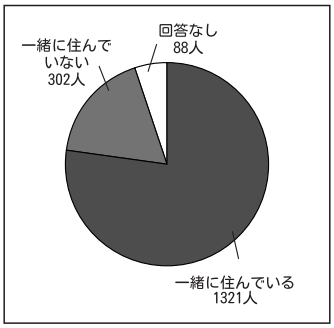
①性別



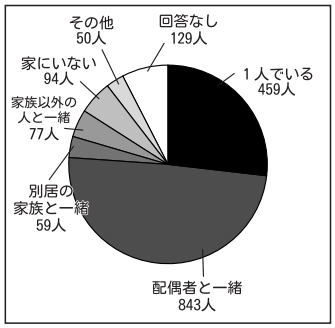
②年齢



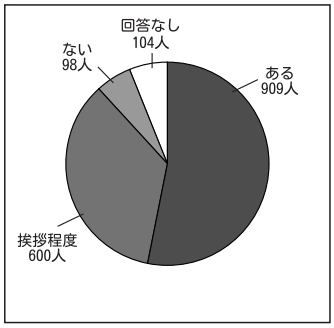
③家族の同居



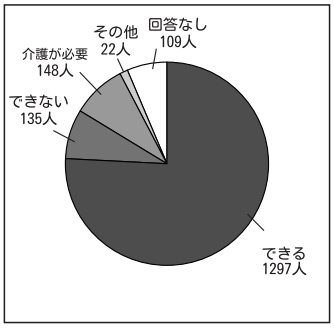
④昼間は誰と



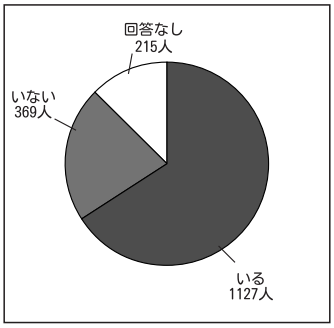
⑤ご近所付き合い



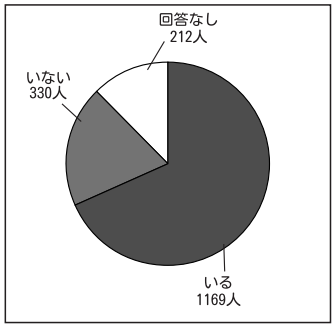
⑥自分で逃げること



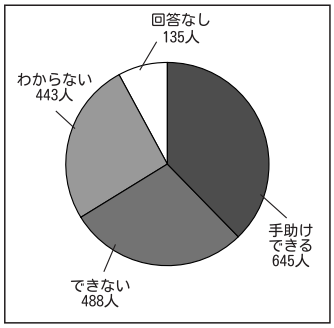
⑦助けてくれる人



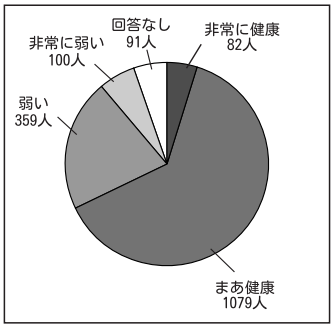
⑧相談出来る人



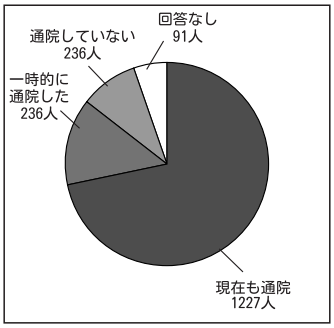
⑨ご近所への手助け



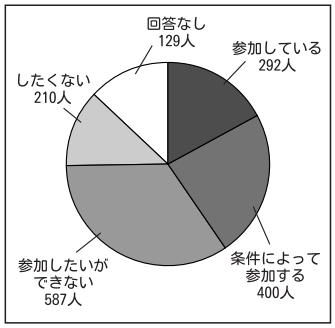
⑩健康状態



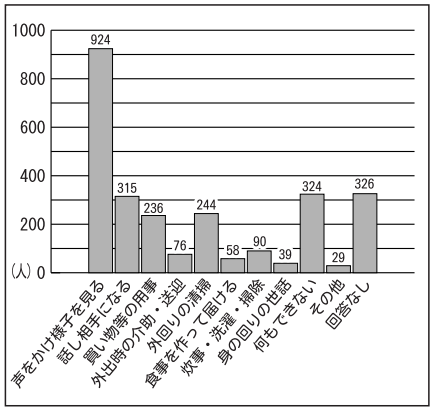
⑪最近1年間の通院



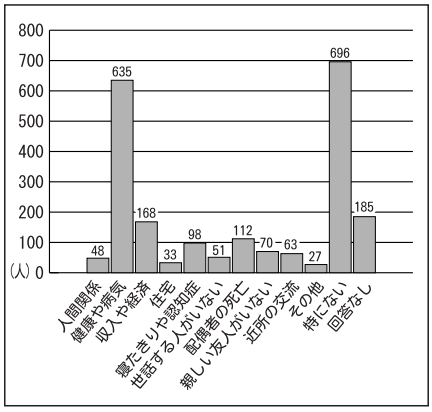
⑫地域の活動



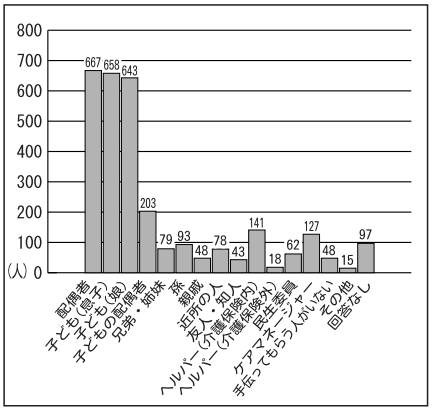
⑬何が手伝えるか



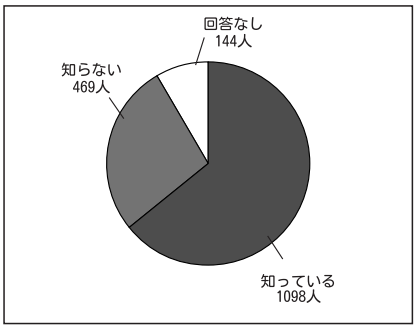
⑭現在の不安・悩み



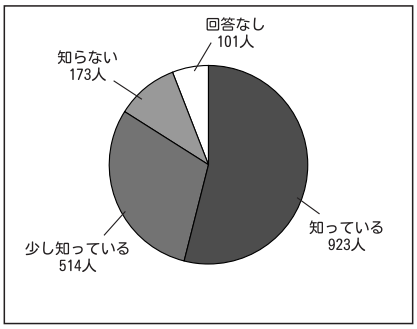
⑮困ったとき誰に手伝ってもらうか



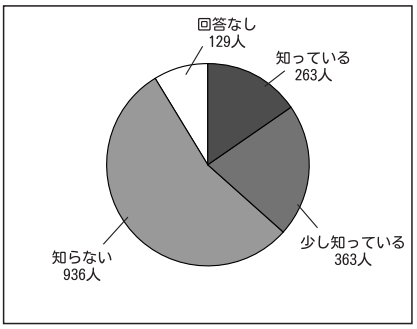
⑯民生委員



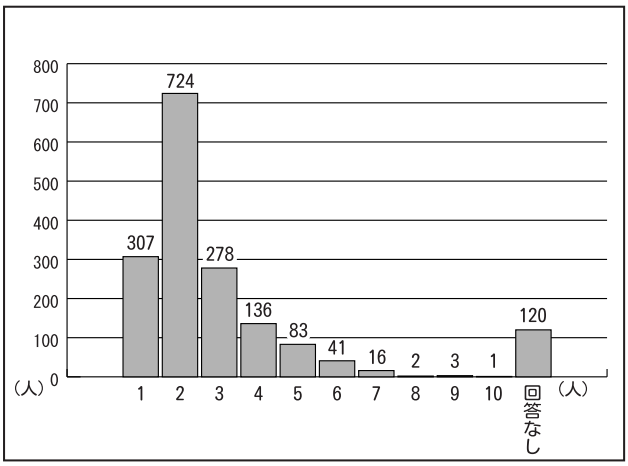
⑰介護保険制度



⑱包括支援センター



⑲同居の家族数



アンケート結果から（ご意見・ご要望等自由記載欄）

- 老夫婦なので万一の時、移動が出来ない。
- 足、腰の具合が悪いので、3.11の震災のような時は逃げられるかどうかわからない。
- 現在は逃げられても、この先半年、1年の事が不安です。
- 昼間二人で不安なので巡回して欲しい。
- 地域のコミュニケーションが不足している。
- 地域に親しみがない。
- 高齢者が自由に集いの出来る施設、場所が欲しい。
- 高齢者が出来るやさしいストレッチや体操、歌や会話が出来る場所が欲しい。
- 買い物時や通院の交通手段の考慮をして欲しい。
- 介護保険制度や地域包括支援センターなどの詳しい情報が欲しい。
- 介護保険の利用方法がわからない。
- 社会福祉協議会がどのような活動をしているのかわからない。

七里地区においても、単身高齢者・高齢世帯が増加しています。健康な人が多いものの、将来には不安を持っています。地域活動への参加意欲は大きいものの、参加方法がわからないようです。介護保険制度や包括支援センター、民生・児童委員、社会福祉協議会についても知らない方々が多いことがわかりました。

今後、このアンケート結果につきましては、安否の確認・声かけ・情報の提供などの「地域見守り活動」に活かしてまいります。

昔から『向こう三軒両隣』また、『遠くの親戚より近くの他人』と言われています。いざという時はまず隣近所の助け合いが大事であると思います。日頃からいざというときのために、お隣同士声を掛け合っていきましょう。

市報、自治会回覧板や掲示板などの情報に是非目を通していただいて、地域の活動にご参加ください。

また、気になること、不安なことがありましたら、自治会長、民生・児童委員、社会福祉協議会、包括支援センターへご相談するようにしてください。

気になる時や困った時の連絡先

- 七里地区社会福祉協議会　TEL 687-9997
- 見沼区役所　高齢介護課　TEL 681-6067
- 市社協見沼区事務所　TEL 684-3322
- 北部圏域地域包括支援センター　さいたまやすらぎの里　TEL 680-3288
- 東部圏域地域包括支援センター　敬寿園　TEL 686-2611

理事コラム

七里地区の地域の「絆」と地域の「見守り」

「餅つき大会」を開催して

生協大谷自治会

会長　鈴木　悦郎

十二月四日（日）、前日までの冷たい雨が嘘のように晴れ上がった青空の下、当自治会恒例の「餅つき大会」が開催されました。

前日より引き続き、全役員総出で早朝から準備をし、餅つきが始まりました。

「ハイ・つき上がったヨー」との威勢の良い声で、最初の餅が会館の中の役員さんに手渡されると、皆笑顔でつきたての餅を伸ばしたり丸めたりしながら、「あんこ餅・きなこ餅・辛味餅・納豆餅」などを作り始めました。

マイクで準備が出来たことをお知らせすると、子供達やお孫さんを連れて大勢の会員さんが食べに来てくれました。（当自治会は一五四世帯、その内九二世帯、約二〇〇人が参加）又餅つきを是非やりたいと申し出てくれた新会員の方や、初めて餅つきを体験した子供の素晴らしい笑顔と歓声は、皆さんの気持ちを和ませ、微笑ましい限りでした。今年は未曾有の大震災があり、夏の納涼大会が中止になったこともあり、「餅つき大会」には一人でも多くの会員に参加していただきたいと思っておりました。

また、この大会を通じて「人と人の和」「地域全体の和」の大切さ、更に今年を代表する言葉『絆』の大切さを再確認した一日でもありました。

会員の皆様のご協力本当にありがとうございました。そして役員の皆様お疲れさまでした。

地区社協の理事になって

蓮沼小学校ＰＴＡ

会長　宮澤　隆仁

「社会福祉協議会ってなあ～に」と子どもから聞かれました。私は何と答えていいか解らずに、その場をごまかしていました。

それは、昨年理事として「ななさと親子フェスティバル」に参加させていただいたときのことです。

このフェスティバルは、地域の子ども達のために自治会連合会を中心に社会福祉協議会も主催団体の一つとして、地域のたくさんの団体の協力を得て行われていることが恥ずかしながら初めて解りました。

本校の生徒達も楽しみにしており、当日もさいたま市のマスコットの「つなが竜ヌゥ」も参加してくれて、どこを見ても、素晴らしい笑顔があふれていました。

また社会福祉協議会は、「赤い羽根」や「歳末助けあい」などの募金活動や七里地区の皆様にとって必要な、いろいろな情報の提供やイベント等を各自治会及び関係諸団体の皆様方のご協力のもと、よりよい地域づくりを目指して、日夜協議し実行されている団体であることを知りました。

昨年の「3・11東日本大震災」において、地域の『絆』という言葉が盛んに言われております。七里地区は、しっかりと地域に根付いた『絆』で、子どもからお年寄りまで安心できる社会を目指しているものと思います。

お陰様で、本校は二十五年度に創立四〇周年を迎えることができます。これも、地域の皆様方に見守っていただいているお陰です。

これからも、よろしくお願いいたします。

ゲーム用具の貸し出し

さいたま市「ふれあい福祉基金運用補助金」の助成により、交流事業で使用出来る用具を購入しました。

・ラダーゲッター
・ニチレクボール（ペタンク）
・ディスコン
・バッゴー

自治会活動や子ども会事業でご活用ください。使用するにあたっては、事前に社協事務所までご連絡ください。

ディスコン

ラダーゲッター

バッゴー

ニチレクボール（ペタンク）

第三回 ななさと親子フェスティバル

合併十周年を記念して盛大に開催

約一、五〇〇人来場

十月三十日（日）秋晴れの清々しい日差しの中で、大谷小学校の校庭において、自治会連合会を中心として、七里地区社協および各種団体の協力により「ななさと親子フェスティバル」が盛大に開催されました。

大谷小学校の吹奏楽のオープニングセレモニーの後、各ブースにおいてゲームや模擬店が行われ、約一、五〇〇人の参加者がありました。各ブース共賑わい、特に豚汁と焼きそばの無料配布は好評で長い列ができるほどの人気でした。

さいたま市合併十周年を記念して、市のマスコット「つなが竜ヌゥ」も応援にかけつけてくれ、子ども達とジャンケン大会をするなど楽しくにぎやかに行われました。

ヌゥと楽しくジャンケン

吹奏楽演奏

ゲーム バッゴー

平成二十三年度 事業報告

・福祉教養講座
　福島原発事故に伴う放射線・放射能の健康影響を知る
・施設見学・情報交換会
　さいたま市障害者福祉施設「春光園けやき」
・ふれあい会食サービス（年十一回）
・各自治会敬老会行事への支援
　七五歳以上　三、二八七名
・赤い羽根街頭募金
　七里駅前・コモディ イイダ
・歳末助け合い助成事業
・ふれあいコンサート
　マンドリン・ピアノ演奏
　独唱・合唱（みんなで唄おう）
・ふれあいサロン
　大宮東警察署による犯罪対策
　埼玉県警察音楽隊吹奏楽演奏
・ななさと親子フェスティバル
・子育てサロン『つくしんぼ』（年十二回）
・うんどうサロン（年十二回）
・歌声サロン（年十二回）
・園芸サロン（年十一回）
・ふれあいウォーキング（年二回）
・各自治会サロンへの支援
・老人クラブへの支援
・子ども講座
　絵画教室
　昆虫のおはなし
　子ども書き初め会

・福祉バザー
・広報紙発行（年三回）
・いなほミニ通信発行（年十二回）
・ホームページの更新（随時）
・車椅子貸し出し事業（随時）
・ライブラリーの貸し出し（随時）

来年度も皆様のご要望に応えられるよう、魅力のある事業を行ってまいります。皆様のご参加をお待ちしています。

平成23年度各種募金等の実績	
市社会福祉協議会賛助会費	2,893,940円
日本赤十字社員募金	1,964,253円
赤い羽根共同募金	3,662,222円
歳末助けあい募金	966,030円
合　計	9,486,445円

ご協力ありがとうございました。

（各募金会等に納付）

◇　お　知　ら　せ　◇

※詳細は地区社協事務所まで

ふれあいウォーキング

日　時　四月三日（火）
　　九時～十五時
　　雨天の場合中止
場　所　七里公民館玄関前集合
内　容　桜の季節に地域を歩こう
　　約８㎞　解説付き
コース　七里公民館から
　　大宮第二公園まで
持ち物　お弁当・水筒・敷物を持参

車椅子貸し出し

一時的に車椅子が必要とされる方に介助用・自走用車椅子の貸し出しを行っています。
　ご利用になりたい方は、地区社協事務所にお問い合わせください。

平成二十三年度表彰者

「さいたま市社会福祉大会」会長表彰

澤田　勇　様

長年に亘り、積極的に募金活動を推進するとともに、単身高齢者や高齢世帯の方々の交流にも尽力するとともに、自治会長を長年務め、組織の充実など、地域福祉の向上に大きく貢献しました。

浅見恵津子様
山田　鈴子様

長年に亘り、ふれあい会食サービスボランティアとして、地域の単身高齢者の昼食作りに積極的に活躍してきました。

さいたま市社会福祉協議会特別賛助会員への加入

㈱タムロン　十万円
㈱高須自動車　一万円
㈱七里ハウジング　一万円
埼玉東部ヤクルト販売㈱　一万円
日本ハム東販売㈱　一万円

賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で最も重要な財源となっています。一人でも多くの方に活動の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。
　ご協力いただける方は、当地区社協事務所へご連絡ください

会食ボランティア募集

人　員　十名程度
内　容　単身高齢者の昼食作り
日　時　毎月第二・第四金曜日
　　九時～十四時頃まで
　　（八月を除く）
場　所　七里公民館　実習室

　ご協力いただける方は、地区社協事務所までご連絡ください。

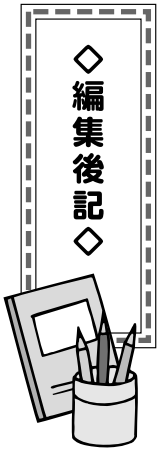
◇　寄　付　◇

風渡野
亀井　長次様　五、〇〇〇円

ありがとうございました。
地域福祉活動費として有効に使わせていただきます。

七里地区社協事務所

開設日時　月曜日～金曜日
　　午後一時～六時まで
　　（祝日及び年末年始は除く）
TEL・FAX　六八七―九九七七

◇編集後記◇

七里地区の皆様に、地区社協の活動を理解していただくため、より良い情報をより見やすくお届けしようと、広報紙『いなほ』を発行しています。
　来年度も、様々な事業を予定していますので、多くの皆様に参加していただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。
　今後とも皆様のご指導・ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。
　ご意見・ご要望がありましたら、当地区社協までお寄せください。